

# HASUNA

---

SDGS/ESG/DE&I統合コンサルティングサービスのご提案

POWERED BY

**SDG**  
**PARTNERS**

# 1.事業概要：

## 持続可能な未来を創る、 実践者だからこそ提供できる 次世代のSDGS/ESGコンサルティング

HASUNAは、2009年の創業以来、エシカル経営のパイオニアとしてサステナビリティとトレーサビリティを追求してきました。

企業のブランドと強みを活かしながらのSDGs達成とESG投資の促進、DE&I (Diversity, Equity & Inclusion) 戦略の統合に加え、サステナブルな商品開発と調達プロセスの確立を支援するコンサルティングサービスを提供します。

人権と社会、自然環境に配慮をしたエシカルブランド運営の16年間に渡る実績と、トレーサビリティを重視した商品開発経験、国際認証取得や大学・研究機関での学術的なアプローチを活かし、お客様の持続可能な成長と競争力強化を実現します。

そして、2017年以来サステナビリティの分野で確実かつ革新的なコンサルティング・サービスを積み上げてきたSDGパートナーズがこの事業に加わります。脱炭素・生物多様性・人権・多様性・人的資本そしてPost-SDGsといった分野で高い専門性と「実践力」をHASUNAとともに提供します。



## 2. サービスの必要性

### 1 SDGs達成と企業の役割

2030年のSDGs達成期限に向けて、企業の積極的な参画が不可欠となっています。企業はSDGsへの貢献を通じて、社会的価値と経済的価値の両立を求められています。

### 2 ESG投資の急速な成長

グローバルESG投資は2020年に35.3兆ドルに達し、2025年までに投資総額の半分以上を占める見込みです。ESGへの取り組みが企業の資金調達や投資家からの評価に直結しています。

### 3 DE&Iによる競争力強化

多様性・公平性と包摂性（DE&I）の推進は、イノベーションの促進や市場開拓に貢献し、財務パフォーマンスの向上にもつながります。

### 4 長期的な企業価値向上とリスク管理

ESGやSDGsへの取り組みは、企業の長期的な成長戦略と密接に関連しています。気候変動リスクや人権問題など、ESG関連リスクへの対応が企業の存続に直結する時代になっています。

### 5 規制環境の変化と情報開示要請

グローバルでESG関連の規制が強化され、情報開示要請が高まっています。これらの複雑な要求に適切に対応するには、専門的な知識とサポートが不可欠です。

これらの要因により、SDGs/ESG/D&Iを統合的に推進するコンサルティングサービスの必要性が高まっています。HASUNAとSDGパートナーズは、エシカルブランドとしての実績と専門知識を活かし、企業の持続可能な成長と社会的価値創造を包括的にサポートします。

# 3. 提供サービス

御社の状況、ご予算に合わせて柔軟なご提案が可能です

1. SDGs/ESG/DE&I統合戦略策定
2. マテリアリティ分析とKPI設定
3. 情報開示・レポーティング支援
4. DE&I推進プログラム設計
5. 新規事業、エシカル商品開発支援
  - 商品企画サポート
  - サステナブル素材の選定と調達支援
  - エシカルなデザインの提案
6. サステナブル調達プロセス構築
  - サプライチェーンのトレーサビリティ確立支援
  - 責任ある調達ガイドライン策定
  - サプライヤー評価・監査システムの構築
7. サプライチェーンESG/DE&Iデューデリジェンス
8. ネイチャーポジティブと生物多様性戦略支援
9. ステークホルダーエンゲージメント支援
10. SDGs/ESG/DE&I研修プログラム
11. DE&Iを考慮したガバナンス体制構築支援
12. RJC（責任あるジュエリー協議会）認証取得サポート



## 4. 期待される効果

- 長期的な企業価値の向上
- イノベーションの促進
- 人材獲得・維持の優位性確保
- リスク管理の強化
- 投資家からの評価向上
- 顧客ロイヤルティの向上
- コスト削減と効率化
- 規制対応力の向上
- ブランド価値の向上
- 新規市場の開拓

## 5. 導入プロセス・料金体系

1. 初回無料相談
2. 現状分析・課題抽出
3. 戦略策定
4. 実行支援（商品開発・調達プロセス構築含む）
5. モニタリングとフィードバック

以下は料金体系の一例です。

御社のご予算とご要望に応じて柔軟に対応いたします。

- 社内研修、講演：30万円/回～
- 個別プロジェクト：80万円/月～
- 年間顧問契約：600万円～
- 商品開発支援：別途見積り

# 6. OUR TEAM

※ご要望に応じ、社内外の人員でチームを組成し実施いたします



白木夏子  
株式会社HASUNA代表取締役  
武蔵野大学アントレプレナーシップ学部 教授

英ロンドン大学卒業後、国連機関、投資ファンド事業会社を経て2009年に株式会社HASUNA創業。エシカルブランドのパイオニアとして業界を牽引。2021年から武蔵野大学アントレプレナーシップ学部教授として所属し、アントレプレナーシップに関する研究と起業家の育成を行っている。DE&Iや起業、ブランディング、サステナビリティ、SDGs等をテーマに国内外で講演活動、コンサルティングも行う。  
2022年ハーバードビジネススクール(Online)サステナビリティビジネス戦略コース修了。  
著書「ファッションの仕事で世界を変える ――エシカル・ビジネスによる社会貢献」(ちくまプリマー新書)「自分のために生きる勇気」(ダイヤモンド社)

過去の講演一覧:  
<https://researchmap.jp/n-shiraki>

田瀬和夫 (戦略パートナー)  
SDG Partners, Inc. 代表取締役CEO

1992年外務省入省。国際連合に10年勤務し、国連外交、人権、アフリカ開発、官民連携、人道支援、人間の安全保障を専門とする。2014年～2017年デロイトトーマツコンサルティング執行役員。SDGs推進室を立ち上げ、企業のSDGs戦略構築、ESG投資対応、地方自治体のSDGs総合計画策定等を支援。2017年に独立し、新会社SDGパートナーズを設立。  
著者「SDGs思考 2030年のその先へ 17の目標を超えて目指す世界」(インプレス出版社)「SDGs思考 社会共創編 価値転換のその先へ プラスサム資本主義を目指す世界」(インプレス出版社)

# 7. 実施事例

## 1 製薬会社A社様（新規事業伴走、調達プロセスコンサルティング）

- ・ウェルビーイングに関連した新規事業サポート
- ・デバイスのデザイン、設計、サステナブル調達プロセス構築
- ・実施期間6ヶ月

## 2 証券会社B社様（研修）

- ・DE&Iに関連した研修設計
- ・女性顧客様を対象にしたイベント設計、講演、外部講師を招いたトークイベント実施
- ・実施期間3ヶ月

## 3 化粧品会社C社様（研修）

- ・店長、スタッフを対象としたSDGs研修
- ・実施期間6ヶ月

## 4 地方自治体D市様（講演、研修、新規事業メンタリング）

- ・女性活躍、SDGsに関する講座設計、実施
- ・女性経営者、マネジメント層に対する研修講座、講演、メンタリング
- ・実施期間3年間



# 8. 講演案

SDGs/ESG/DE&Iを網羅的に学ぶ全8回の社内講演を想定したプランです。御社の事業やニーズに合わせて適宜内容をアレンジいたします  
月1回開催、60分/回を想定

## 1. 「SDGs/サステナビリティと企業戦略」(田瀬和夫)

- SDGsを支える基本理念とこれを経営に統合する方法
- SDGsを活用した新たな事業機会創出とリスク管理
- 成功事例から学ぶSDGs戦略の実践

## 2. 「サステナブルビジネスの実践と海外事例」(白木夏子)

- HASUNAのエシカルビジネス実践方法と成功要因
- トレーサビリティ確立の具体的手法とその効果
- 欧米企業の先進事例から学ぶサステナブル経営

## 3. 「ESG経営の基礎と世界潮流」(田瀬和夫)

- ESG投資の本質とはなにか
- 脱炭素・生物多様性・人権・人的資本・DE&Iの収束
- ネイチャーポジティブと世界が向かう未来の方向性

## 4. 「サプライチェーンにおける人権とDE&I」(田瀬和夫)

- 国連「ビジネスと人権に関する指導原則」が変えた世界
- サプライチェーンにまで責任が及ぶ新しいルール
- 多様性が人権と企業守り成長させる鍵になる

## 5. 「ESG情報開示と投資家対応」(田瀬和夫・白木夏子)

- ESG情報開示の国際基準と最新動向を詳解
- 効果的な統合報告書作成のポイントと実践例
- 投資家とのエンゲージメント強化策

## 6. 「持続可能な製品開発とブランディング」(白木夏子)

- エシカル製品開発プロセスの具体例
- サステナビリティを軸にしたブランド戦略構築法
- 消費者心理を捉えたマーケティング手法

## 7. 「SDGSを活用した新規事業創出」(白木夏子)

- SDGSをビジネスチャンスに変えるフレームワーク
- 大企業でのSDGS関連新規事業成功事例分析
- イノベーション促進による競争力強化策

## 8. 「ESG/SDGS経営の未来と日本企業の課題」(田瀬和夫・白木夏子)

- パネルディスカッション形式で未来展望を議論
- 日本企業が取り組むべき優先課題と具体的アクションプラン
- 次世代リーダーに求められるコンピテンシー

# 9. 研修案

役員、マネージャー、現場層それぞれに合わせて、経営課題に沿った研修の提案が可能です

以下は社員向け、月1回開催、90分（講義30分、ワークショップ45分、Q&A・フィードバック15分）/回を想定。

## SDGsに関連した新規事業策定研修案（6回プラン）

### 1. 「SDGs経営の基礎と企業戦略への統合」

- 講義：SDGsの基本概念と企業戦略への統合方法
- ワークショップ：自社の事業とSDGsの関連性分析

### 2. 「SDGsを活用した市場機会の特定と新規事業アイデア創出」

- 講義：SDGsに基づく市場トレンドと機会の分析方法
- ワークショップ：SDGsの視点から見た新規事業アイデアのブレインストーミング

### 3. 「サステナブルな製品・サービス開発とブランディング」

- 講義：エシカル製品開発プロセスとサステナブル素材の選定
- ワークショップ：SDGsに貢献する新製品・サービスのコンセプト作成

### 4. 「SDGs視点でのビジネスモデル設計」

- 講義：サステナブルなビジネスモデルの種類と事例分析
- ワークショップ：新規事業のビジネスモデルキャンバス作成

### 5. 「サステナブル・マーケティングの戦略と実践」

- 講義：SDGsを活用したマーケティング戦略と消費者心理
- ワークショップ：新規事業のターゲット設定とマーケティングミックス策定

### 6. 「SDGs経営に基づく新規事業計画の策定と評価」

- 講義：SDGs経営におけるKPI設定と評価方法
- ワークショップ：新規事業計画のプレゼンテーションと相互フィードバック

## DE&Iの基礎と実践を促す研修案（3回プラン）

### 1. 「DE&Iの基礎と企業における重要性」

- 講義
  - DE&Iの定義と基本概念
  - DE&Iが企業にもたらす価値（イノベーション促進、市場開拓、人材確保等）
  - 人的資本経営とDE&Iの関連性
  - 日本企業におけるDE&Iの現状と課題
- 自社の強みと課題をDE&Iの観点から考えるグループディスカッション

### 2. 「職場におけるDE&Iの実践」

- 講義
  - アンコンシャス・バイアスとその影響
  - インクルーシブな職場文化の構築方法
  - 多様性を活かしたチームビルディング
  - DE&Iを考慮したコミュニケーションスキル
- 日常業務でのDE&I実践アイデアを考えるグループワーク

### 3. 「DE&Iを活かした業務改善と自己成長」

- 講義
  - DE&Iの視点を取り入れた業務プロセス改善
  - 多様性を活かしたイノベーション創出事例
  - DE&Iと個人のキャリア開発の関連性
  - DE&Iを推進する上での個人の役割
- DE&Iを活かした自身の業務改善や成長プランの作成ワーク

# 10. コンサルティング

統合戦略策定、マテリアリティ分析、統合報告書作成へのアドバイザー・作成伴走等、まずはご相談ください

学研グループ  
統合報告書 2023  
INTEGRATED REPORT  
Gakken

### Chapter 1

#### 学研グループの価値創造プロセス

2023年にマテリアリティを踏まえて価値創造プロセスの構築を行い、学研グループ全体の経営活動の中心となり、各事業の中心として社会的価値を創出しているのを改めて再確認しながら、各グループとしての価値創造の構築を示しました。

**経営資本**

- 経営理念: 持続的成長に必要な資金・健全な財務基盤
- 人的資本: 成長の原動力となる人材の確保・教育・育成環境における競争力・意欲・意欲を有する人材
- 知的(ブランド)資本: 成長の原動力となる学研グループブランド
- 社会関係資本: さまざまなステークホルダーとの関係性
- 組織資本: 教育・教育・教育の推進
- 技術資本: 事業を支えるすべての経営資源

**マテリアリティ(焦点課題)**

- 教育: 教育環境における競争力・意欲・意欲を有する人材の確保
- 生活: 生活環境における競争力・意欲・意欲を有する人材の確保
- 環境: 環境環境における競争力・意欲・意欲を有する人材の確保
- 社会: 社会環境における競争力・意欲・意欲を有する人材の確保

**グループ理念**

私たち学研グループは、すべての人が心から安心して生活できることを願い、今日の感動・満足・安心と、明日への夢・希望を提供します。

経営資本 × マテリアリティ × グループ理念 = 価値創造

価値創造 → 事業活動 → 事業資本の変化

事業活動: 一人ひとりが生活を通して心から安心して生活できることを願い、今日の感動・満足・安心と、明日への夢・希望を提供します。

事業資本の変化: 経営理念の実現、人的資本の確保、知的(ブランド)資本の確保、社会関係資本の確保、組織資本の確保、技術資本の確保。

再投資: 事業活動から得た利益を、教育・教育・教育の推進に再投資し、成長の原動力となる人材の確保・教育・育成環境における競争力・意欲・意欲を有する人材の確保に再投資します。

ZEON  
ゼオングループ 統合報告書 2024

### 企業理念とマテリアリティ

**企業理念=使命**  
大地の永遠と人類の繁栄に貢献する

大地(ゼオ)と永遠(エオン)からなるゼオンの名にふさわしく、独自の技術・製品・サービスの提供を通じ、「持続可能な地球」と「安心して快適な人々の暮らし」に貢献する

**マテリアリティ「ゼオンを動かす5つの歯車」**

企業理念「大地の永遠と人類の繁栄に貢献する」の実現に向けて、ゼオンが社会とともに持続的な成長を続けていくために優先的に取り組むべき重要課題(マテリアリティ)としてゼオンを動かす5つの歯車を以下の通り特定しました。

- 心からワクワクできる会社の実現
- イノベーションでほかにない価値を提供
- 独自のガバナンスの構築
- 社会の変化に対応した事業構造の転換
- 持続可能な社会への貢献

**サステナビリティ基本方針**

「持続可能な地球」と「安心して快適な暮らし」に貢献する  
公正で誠実な活動を行い、信頼される企業であり続ける  
より良い未来のために、一人ひとりが考え、行動する

ゼオンの考えるサステナビリティとは、企業理念「大地の永遠と人類の繁栄に貢献する」のもと、ゼオンが社会とともに持続的な成長を続けていくことです。そのために、地球や社会の課題解決に役立つ製品・サービスを提供し、いかなる時も誠実な企業活動を行うことでステークホルダーとの信頼関係を構築することにより、一人ひとりが社会と自身のより良い未来を考え日々活動します。

社会のサステナビリティ  
社会の課題の解決・持続的な成長  
社会の持続的な成長  
社会の持続的な成長  
社会の持続的な成長

自然と人間の共存(生物多様性の保全)  
カーボンニュートラルの実現  
社会の持続的な成長  
社会の持続的な成長  
社会の持続的な成長

### Prologue

#### 学研グループの歩み

常に社会課題の解決に挑んできた学研

1940年代	1960年代	1980年代	1990年代	2000年代
教育資本の創出、新教育開発 「新しい時代」の新しい「教育」	経営が中心になり、教育が活動 「新しい時代」の新しい「教育」	教育活動の中心、ITの導入 「新しい時代」の新しい「教育」	デジタル化が加速 「新しい時代」の新しい「教育」	デジタル化が加速 「新しい時代」の新しい「教育」

売上高: 0.1億円 (1946年) → 7.1億円 (2022年)  
従業員数: 3人 (1946年) → 8,341人 (2022年)

1946年4月: 「戦後の復興は教育において最も大切なこと」を掲げ、高岡元人が「学研研究社」を設立

1946年: 「初等六年の学研」第一編(創刊号 1946年)

1947年3月: 「学研研究社」を法人組織に改組、「(株)学研研究社」を設立

1952年4月: 東京証券取引所第一部に上場

1957年4月: 「中学一年コース」創刊

1967年6月: 「原色近代教科書」発行

1970年3月: 大阪万博「あひろ」にて300万冊「アヒロ」を販売

1977年4月: 中学生の読書習慣を伸ばす「マイコー」創刊

1979年5月: 「学研」19年の歴史を振り返る「学研の歩み」発行

1982年6月: 東京証券取引所第二部に上場

1984年2月: 東京証券取引所第一部に上場

1990年4月: 「学研読書教室」開設

1996年10月: CA環境学習システム「あひろ」開発

2000年3月: 読者のための「あひろ」ウェブサイト開設

2000年10月: 学研研究社(学研ホールディングス)株式会社を設立

2006年3月: 読者のための「あひろ」ウェブサイト開設

2016年3月: 読者のための「あひろ」ウェブサイト開設

2018年9月: 企業として「あひろ」ウェブサイト開設

2019年3月: マテリアリティを特定し、SDGsの優先課題を設定

### 社員の意欲に応える

「原因系の項目」

- 戦略・方向性
- リーダーシップ
- 品質・顧客志向
- 個人の尊重
- 成長の機会
- 報酬・福利厚生
- 業績管理
- 権限・裁量
- 教育・研修
- リソース
- 協力体制
- 業務プロセス・組織体制
- 前回調査後アクション

「結果系の項目」

従業員エンゲージメント(組織へのコミットメント、自発的な努力)

社員の意欲の高さ(能力の最大化)

従業員を活かす環境(適材適所、働きやすい環境)

社会の期待に応える

持続可能な社会に貢献

社会にとってもなくてはならない製品・サービスを提供

ビジョンの実現

企業価値向上

※SDG PARTNERSによる学研グループ様、ゼオングループ様お取り組み事例。マテリアリティ分析、価値創造モデル構築等



# CONTACT

email: [info@hasuna.co.jp](mailto:info@hasuna.co.jp)

株式会社HASUNA  
東京都渋谷区神宮前5-39-3 表参道Osaki Square Building 1F  
Tel: 03-6447-1763

[www.hasuna.com](http://www.hasuna.com)